

学園へのご寄付・ご支援について

令和6(2024)年9月より募集を開始いたしました「学園創設120周年記念寄付金」におきましては、多くの皆さまからのご賛同、ご協力を賜り、寄付金総額は、3,467,001円となりました。

皆さまからの温かいご支援に感謝いたしますとともに、心より御礼申し上げます。

お寄せいただいた寄付金は、佐藤記念講堂の維持・整備事業を主な目的として、寄付者さまのご意思(使途区分)ごとに、本学園が設置する千里金蘭大学、千里金蘭大学大学院、金蘭会高等学校・中学校、金蘭会保育園、スペシャルプログラムの奨学資金、研究支援資金、課外活動資金、施設・設備資金、図書購入資金、教材充実資金などに充当させていただきます。

令和7(2025)年に金蘭会学園は創立120周年を迎えます。これまでの基本理念を継承しつつ、現代社会のニーズにこたえ、生涯にわたる教育機関をめざすべく、それぞれの学びが一体となって、これからも新しい挑戦を続けてまいります。

昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 経理・財務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707
本学園ホームページ「ご寄付のお願い」
[URL] <https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

年間スケジュール(前期)

2025					
4月	2日(水)	令和7(2025)年度入学式	6月	8日(日)	オープンキャンパス
	3日(木)	オリエンテーション	7月	20日(日)	オープンキャンパス
	4日(金)	オリエンテーション	21日(月・祝)	祝日授業日	
	7日(月)	前期授業開始	25日(金)	前期最終授業日	
	20日(日)	オープンキャンパス	27日(日)	オープンキャンパス	
5月	29日(火・祝)	祝日授業日	28日(月)	授業予備期間(7/28~8/1)	
	2日(金)	学園創立記念日(120周年)	4日(月)	専門科目、保育・教職科目	
	25日(日)	オープンキャンパス		調整期間(8/4~8/6)	
			8月	9日(土)	オープンキャンパス
				22日(金)	前期成績Web発表日(予定)
				24日(日)	総合型選抜チャレンジAOI期
			9月	12日(金)	保護者宛成績発送日(予定)
				22日(月)	後期授業開始
				23日(火・祝)	祝日授業日

※4月中旬現在の予定です。スケジュールが変更となった場合は、大学ホームページなどで適宜お知らせいたしますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。



学校法人金蘭会学園理事長の交代について

本学園の島崎 靖久(しまざき やすひさ)理事長が令和7(2025)年3月31日に理事長を退任し、後任の新理事長に大橋 博(おおはし ひろし)が令和7(2025)年4月1日に就任いたしました。

島崎前理事長は、平成25(2013)年10月に千里金蘭大学学長

に就任し(令和4(2022)年9月まで)、平成27(2015)年4月以降理事長として本学園を運営してまいりました。

今後は、大橋理事長が本学園(千里金蘭大学、金蘭会高等学校・中学校、金蘭会保育園)の運営に取り組んでまいります。

私の成長、きっとだれかのために。
千里金蘭大学

千里金蘭大学 総務課
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-0673
発行/令和7(2025)年5月30日

大学web <https://www.kinran.ac.jp/>
公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>
受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>
受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>
広報サークルInstagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

 千里金蘭大学

Vol.29
2025.May
学報



2025年、金蘭会学園は
創設120周年を迎えます

私の成長、きっとだれかのために。

- 01 学長メッセージ
千里金蘭大学後援会からのご挨拶
- 02-04 学部・学科 MESSAGE
- 05 研究科 MESSAGE
- 06 部局 MESSAGE
- 07 ゼミ探訪 vol.22
- 08 クラブ紹介
- 09 学位授与式報告 / 入学式報告
- 10 新任教員紹介
- 11 学園へのご寄付・ご支援について
年間スケジュール(前期)
学校法人金蘭会学園理事長の交代について



学長メッセージ

千里金蘭大学 学長
福 嶋 教 偉



学校法人金蘭会学園は、120年前に女性が『自ら学び、人に役立つ』ように勉学できる学校をめざして創立されました。その想いは、21年前に開設した本学の建学の精神として受け継がれています。2年前に女性が社会で活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制として出発しました。また、大学院看護学研究科修士課程を開設し、大学院生が看護の発展をめざして、研究に勤しんでいます。これらの大学の組織変革と同時に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、栄養学部国際栄養履修モデルの韓国釜山研修、教育学部海外インターンシップの英国ロンドン前田学園研修・ブライトンの語学研修など、さまざまな海外研修を再開しました。今後も、いろいろな研鑽ができるように、新しい研修プログラムを開設していきたいと考えています。

入学式でもお伝えしたように、近年徐々に人の多様性モデル(Diversity)が認知されるようになり、そのひとつに男女平等の概念が認められるようになりました。しかし、日本社会では、Diversityの認知と称して、単に会社、役員、議員、さらには大臣の女性採用率を増やす風潮があります。このことは、その女性大臣をお飾り的に扱っているのであり、これこそ女性を差別していることだと思います。女性だからその職位に就くのではなく、その女性が性別に関係なくその職位に相応しい人格であるから、その職位に就くようにすることが重要です。つまり、女性自身も自分が理想とする職務に相応しい知識、技術、人間性、そしてものを自分で考える力を養うことが重要です。

大学の入学が、さらに資格を取得して就職することが人生の終着点ではないと思います。皆さんが、どのように大学生活を過ごしたか、どのような職業に就いてどのように社会や職場で活躍したいか、つまり、自分がこれから何をしたいのか、まずじっくり自分の夢について考えてください。そして、その自分の夢に向かって勉学に励んでください。栄養、教育、看護は、すべて人を扱う学問です。ぜひ、千里金蘭大学であなたの夢を見つけ、自らの夢を叶えるため知識や技術だけでなく、人にやさしい心や自ら考える力を養ってください。それぞれの分野のプロとして、そして女性としての人生をさらに広げてください。前進するあなたを教職員一同は全力で応援します。

また、これも入学式でお伝えしましたが、大学生活において、また卒業後社会に出て、いろいろ悩むことがあると思います。そんなときに、ひとりで悩まないでください。コロナ禍のため対面で話をすることが不慣れかもしれませんが、ぜひ遠慮なく何でも相談してください。すべての悩みを私どもが解決できないかもしれませんが、自分の悩みを人に相談することで、悩みの本質を理解することができ、悩みを解決する糸口を見つかることがあります。また、悩みを自分ひとりのものにせず、他人と共有することで、孤独感が減り、気持ちが楽になります。他人に相談されることに慣れていない学生には、勇気のいることかもしれませんが、ぜひ私たちに声をかけてください。

学生の皆さんは、千里金蘭大学という学びのキャンパスを十分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。そうなるように、私たちは全力で応援します。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、まことにおめでとうございます。また、在学生の保護者の皆さまには、日ごろより後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、保護者の皆さまにより組織され、学生支援を目的として、教育内容の強化、課外活動の充実、学生生活環境の整備などに向け、大学経営の財政的基盤の充実を保護者同士で支え合うことを主な役割としており、設立10周年を迎えました。

今年度も、全保護者のご入会をいただくことができ、感謝申し上げます。

昨年度は、後援会の目的である「学生生活の向上」の観点から、スマートフォンの充電機能付き防災用ベンチの購入を承認いただき、中庭に設置いたしました。

今年度も引き続き、中庭ベンチの更新もしくは防災用ベンチの購入を予定しているほか、令和5(2023)年度より4年間の計画で行っている環境整備を目的とした積立金を引き続き行ってまいります。

後援会は、これからも学生の皆さんが安心して学生生活を送ることができる環境づくりに尽力して参る所存でございます。



<https://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

令和7(2025)年4月1日

千里金蘭大学後援会 会長 齋藤 政代

学部・学科 MESSAGE

栄養学部 栄養学科

学部長メッセージ

栄養学部長・栄養学科長
石川 秀明

学生の多様な将来に向けて、
特色ある学びを提供します。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さんもさらなる飛躍を胸に新年度を迎えていることと思います。保護者の皆さまにおかれましては、日頃よりご支援いただき感謝いたします。

栄養学部栄養学科は、改組して3年目の春を迎えました。学生は管理栄養士の資格取得に加えて、多くの学外活動に取り組み、問題解決能力を養うことをめざします。4年間の大学生活における基礎ゼミ、実践ゼミ、卒業研究ゼミなどの少人数ゼミでの学びや国際栄養履修メニューを通じて、学生は正解のない課題に幅広く取り組み、自ら創意・工夫を重ねて、チャレンジを続けます。このようなアクティブラーニングの積み重ねは、栄養学の社会貢献への可能性を切り開き、社会で必要な応用力・実践力を身に付けることに役立つでしょう。

学園発足120周年の節目を迎えるにあたり、諸先輩方が育んで来られた女子教育の伝統の重みを感じつつ、栄養学部も新たな歴史を刻む意気込みで前進します。

学生の活動実績

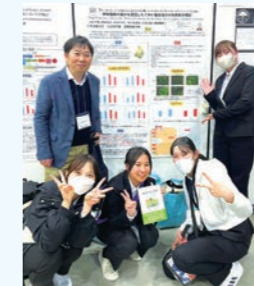
伝統の吹田くわい料理教室 2024

平成29(2017)年から吹田市主催、本学協力ではじまった料理教室が「吹田くわい料理教室2024」として令和6(2024)年12月に本学の調理室で開催されました。献立は、全て吹田くわいを使用し、雑煮、ハンバーグ、くわいモンブラン、くわいアイスです。くわいモンブランは実践ゼミ生、くわいアイスは八木教授の卒業研究ゼミ生が考案しました。学生は市民の方と楽しく交流しながら、料理の進捗を補佐していました。



ドキドキの学会発表

食品機能学を専門とする崎山教授の卒業研究ゼミを選択した9名の学生が、令和6(2024)年11月「日本分子生物学会」において、くわい由来の天然成分には、中性脂肪を減らす効果や酸化ストレスを抑制する効果があるという研究成果を発表しました。発表はポスター形式で、学生は鋭い質問にドキドキしたり、緊張したようですが、自分たちの研究を知ってもらえて、とても良い経験となりました。



レトルトカレーの 本格的開発販売に挑戦

2年生科目の「実践ゼミ」では、新商品開発を継続しています。令和6(2024)年度はタケノコたっぷりの「無水シーフード」レトルトカレーを開発・販売しました。低塩、小麦粉フリー、野菜からの水分だけで作りました。8月のカレーグランプリ(宝塚阪急)、9月の吹田市商工会議所35周年記念イベント(江坂公園)、大学祭、卒業式などで、1,500食を売り上げました。



教育学部 教育学科

学部長メッセージ

教育学部長・教育学科長
小野 淳

失敗を恐れずに、
さまざまなことにチャレンジしてほしい。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教育学部へのご入学を心から歓迎いたします。

教育学部の4年間を通して、さまざまなことを学び、多くの学友を得て、実りある学生生活を送っていただきたいと思っています。また、自立した社会人として、教育や保育の専門職として、子どもに寄り添い、向き合うことのできる人になってほしいと願っています。

教育学部では、1年生から「金蘭おやこクラブ」や「子ども地域活動」などの時間に、子どもと触れ合う機会が多く設けられています。その場で、子どもや保護者の方、先生、先輩の姿から多くの刺激を受けることと思います。失敗することもあるかもしれませんが、いろいろなことにチャレンジして、実りの多い学生生活を送ってください。私たちは皆さんを全力でサポートいたします。

学生の活動実績

金蘭おやこクラブが 19周年を迎えました

金蘭おやこクラブでは、地域の親子の方に参加いただき、遊びの場の提供と参加者や保育者との交流を行う子育て支援を行っています。その中に、1年生は授業として参加して、子ども・保護者とのかかわりや、子どもの1年間の成長について体験的に学んでいます。地域の親子の方にも好評をいただいております。19周年を迎えて卒業生が子どもと一緒に参加希望をするまでになりました。



教育ゼミで小学校体験を行う イベントを開催しました

教育学部では授業を通して小学校体験が積めるさまざまな取組みを行っています。とくに教員志望者が多い教育ゼミでは、年間を通して計画的に学校現場に入り、企画から実施まで学生たちの手によるイベントを行っています。今年度は、「さんすうきょうしつ」や「じっけんきょうしつ」などを実施しました。学生にとって子どもの理解を深め、実践力を培う場となっています。今後も子どもたちの触れ合うことのできる体験活動を進めます。



リトミック指導資格が 取得可能となりました

リトミックは、音楽と触れ合いながら、身体的、感覚的、知的など子どもたちが持っている能力の発達を促す教育です。リトミック指導資格を取得すると、リトミックの理論や子どもへの指導法を身につけたリトミックの指導者として認定されます。令和7(2025)年度より、この資格を大学でも取得することが可能となり、音楽を通して保育・教育の実践力をより高めることができます。



看護学部 看護学科

学部長メッセージ

看護学部長
藤田 俱子

多学年生との交流を体験する中で、
社会で活躍できる力が、身につきます。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。在学生の皆さん進級おめでとうございます。新しい環境での学修も、ペースをつかんできた頃でしょうか。大学での学修で大切なのは学生が自ら学ぶ姿勢です。友人と共に探求し、学修する体験はとて素敵な思い出になっていきます。本学では、他学年の学生との交流の時間もあり、同学年の学生だけでなく、1年生から4年生まで、多学年の交流により人とのかかわり方、学ぶ側や伝える側の態度など社会で活躍する際に必要となる力も育んでほしいと願っています。先輩になった2年生、いよいよ授業が密になる3年生、最終学年となった4年生の皆さんは、これまでの学修からさらに専門性のある学問の理解や実践力を求められる授業となっていきます。学生生活を楽しみつつ、学ぶ喜びを感じてほしいと思っています。

学生の活動実績

大学祭での レモネードスタンド

がんと闘う子どもたちを支援することを目的に、レモネードの売上金を小児ホスピス施設に寄付するため、看護学部の学生がレモネードスタンド活動をしました。



養護教諭課程 健康診断の授業

養護教諭課程の健康診断の授業で、聴力の検査をしています。学校現場では、春に健康診断を実施し、児童・生徒の健康安全につなげます。



保健師課程公衆衛生 看護活動論Ⅱの授業

保健師課程の公衆衛生看護活動論Ⅱの授業で、保健指導を受ける対象者として、模擬患者さまにご協力いただき、特定保健指導を行いました。保健師として保健指導をするほか、学生は指導の様子を観察して、かかわり方がどうであったかなどを保健指導の後、学生同士で話し合います。



看護学研究科

研究科長メッセージ

看護学研究科長
登喜 和江

今年も多彩な新入生を迎えて
活気あふれる院生室に。

今年も新たに6名の3期生を迎えた大学院室は、活気あふれる研究室になりました。多くの臨床家で構成されていた院生に、今年から看護基礎教育を担う仲間が参加したことで、教育現場からみた臨床や臨床現場からみた看護教育について、双方向性の議論が展開できそうな予感がします。院生同士といった土壌から看護基礎教育の在り方や卒後教育について、忌憚のない議論が展開し新たな学びと発見につながるのではないかと期待が高まります。また、大学院の教員組織も15名の専任教員からなり、ここにも多彩な教育・研究が展開されています。



▲ 入学ガイダンスでは、『文献検索』に挑戦。

学生の活動実績

学術集会への参加で 多くの刺激を受けました！

関連知の拡張と研究テーマの絞り込みの時期のM1の学生は、大学の研究助成金を活用して、8月と12月に3つの学会に参加し、看護管理や新人看護師教育などに関する多くの学びを得たようです。自らの研究テーマに隣接する興味深い発表を聞いたり、poster sessionでは、発表者に質問し意見交換するなど刺激的な経験もしました。また、学会参加後は、同期生と食事にも出かけ親交も深めたrefresh時間もしっかり確保したようです。



学会で information exchangeに挑戦！

研究活動進行中のM2の学生は、自らのテーマについて、さまざまな意見を聞いてみたいと、学術集会のinformation exchangeに挑戦しました。学会最後のsessionにもかかわらず100名弱の参加者との意見交換で、自らの研究テーマに確信と意欲の向上を実感した体験をしたようです。また、ゼミ仲間の協力も得て、会場設営・司会進行もスムーズにでき、excitingな時間が持てたとのことでした。refreshは勿論、開催地の名古屋飯を同期と満喫のおまけ付きでした。



部局 MESSAGE

学修・キャリア総合支援センター

センターが主催する就職・キャリア支援行事

センターでは、皆さんの就職やキャリア形成をサポートするための就職関連行事を、毎週木曜日の4時限目を中心に実施しています。令和6(2024)年度は、「就職ガイダンス」「キャリアカウンセラーによる相談会」「労働法セミナー」「業界研究セミナー」「就活マナー講座」や、「インターンシップの進め方」「公務員の仕事」「自己PR・ガクチカとは?」「履歴書の書き方」などに関する説明会を行いました。これらは、個人では受講できないものや、学外で受講すると費用がかかるものが多いので、大学として行事の内容を考え、学生に提供しています。



付属図書館

図書館に求められること

図書館に求められることとして、「行きやすい場所にあること」「目的もなくふらっと立ち寄れるところ」「長時間滞在したくなるような雰囲気」などがあると思います。千里金蘭大学付属図書館では、このようなことを具現化するため、今後ますます頑張ってもらいます。

特に学生の皆さんの自主的な学修の支援などのニーズに対応し、図書館が知的資源として活用していただけるよう、さまざまなサービスを提供できればと思っております。

皆さんに活用していただける愛される図書館をめざします。ぜひ足を運んでいただきたいと思います。



教学センター

学生の皆さんのための新たな支援を ぜひ、ご活用ください

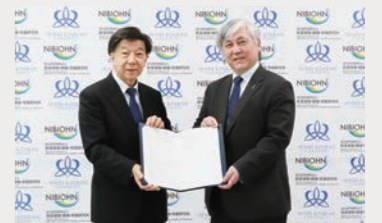
新年度が始まり、新入生を迎えて新しい仲間との出会いや学びへの意欲に満ちた学内には、新たな活気が広がっています。本学では、学生の主体的な学びを支援するため、持ち込みPCでの自習が可能な部屋を新設しました。授業時間外の空き時間などにぜひ活用してください。また、今年度より経済的負担を軽減し、安心して学業に専念できることを目的とした学修支援制度において、新たに多子世帯が新設されました。申請方法などの詳細は教学センターへお問い合わせください。



研究推進・社会連携センター

「国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所」との 連携協定の締結について

医薬健康研は、国民の健康の保持・増進に関する調査及び研究並びに国民の栄養、その他国民の食生活に関する調査・研究などを行うことにより、公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とする研究所です。令和4(2022)年に東京から大阪府吹田市・摂津市にある「健都」に移転し、令和7年(2025)年2月27日、本学と連携・協力に関する協定を締結しました。健康・栄養学及び医科学分野における学術、研究連携を図ることで、学術研究の促進や健康、栄養及び医療分野の専門人材育成に取り組んでまいります。



アドミッションセンター

学生広報アンバサダー制度を導入！

本学では、かねてから学生スタッフにオープンキャンパス運営を協力いただき、「案内が分かりやすい」「学生さんの様子がいきいきしている」など、来場者から好評を博していました。加えて今年度からは、『学生広報アンバサダー制度』がスタートしました。これは、運営のお手伝いからさらに踏み込み、高校生に一番近い存在の在学生が本学の魅力を高校生に発信していく「学部を超えた取り組み」です。現在は学生広報アンバサダーが本学の魅力を大勢の高校生に伝える企画を考えています。今後の彼女たちの企画や動きにもぜひご注目いただければと思います。



Seminar
ゼミ探訪 vol. 22
看護学部 看護学科
老年看護学
研究ゼミ



清水 昌美 准教授

悩み抜き、
新たな発想をよりよいケアへ

老年看護学の看護研究ゼミについてご紹介します。老年看護学は、高齢者が健やかに老いて安らかに永眠するために必要とされるケアを、高齢者の家族を含めて考える領域です。指導に携わるのは、一般病院や高齢者施設での臨床経験に加え、家族の介護や看取りを身近に経験している3名の教員で、ゼミにおいても自然に各々の介護体験などが話題に上がります。ゼミ生は教員別に3つのグループに分かれますが、初回と最終に加え、2回の経過報告会によって、学生間や他の教員からの意見も得ながら研究計画を進めていきます。

研究テーマは、高齢者の権利擁護に関するもの、認知症高齢者へのケア、介護家族へのケア、健康の維持・増進をめざすケアなど多様です。令和6(2024)年度は、せん妄ケア、転倒・転落、社会的孤立、自尊感情、ストレンクス、介護のコツ、寄り添うケア、終末期ケアをキーワードとするテーマに取り組みました。研究テーマを絞り込む段階では、各テーマにまつわる学生個々の体験を述べあったり関連する概念、政策について調べたりと、幅広い視点から互いに学びを深めます。新たなことを知る喜びも束の間、学生は知れば知るほど自身の探求することがわからなくなり、頭をかかえてしまうこともあります。この過程には、一つひとつの事柄を丁寧に分析し、関連づけ、整理していく作業があり、悩み抜いて自分なりの答えをみつけた後に見せる学生の表情は、なんとも言えず清々しいと感じます。

研究計画書を作成する過程で学んだ、問いを立て、深く丁寧に考え、論理的に説明する力、仲間と共に研鑽する姿勢を、今後の看護実践にもぜひ役立ててほしいと思います。



student's message

ゼミ生メッセージ

私は祖母の入院による経験から、せん妄ケアの実態を研究しました。初めは大変でしたが、教員や学生のサポートもあり、研究を進めることができました。看護は日々変わりゆく時代で、個人の状況に応じた課題もさまざまですが、その研究を行うことが、エビデンスに基づくより良い看護に繋がるという看護研究の面白さを感じました。また、研究は看護師自身の知識やスキルの向上にも繋がるため、学んだことを臨床に活かしていきたいと考えています。

高松 弥生子 さん

私は実習を通じて認知症ケアに興味を持ち、「認知症高齢者に対するストレンクスを活かした関わりの検討」というテーマで研究を行いました。データ収集方法について考える際、何を明らかにすべきかが不明確でしたが、ゼミの仲間や指導教員からの助言を受けることで、自分の研究に具体的に落とし込むことができました。その結果、認知症ケアの現状を理解し、将来どのような看護師になりたいのかというビジョンも明確になりました。

峠山 愛佳 さん

CLUB Activities

クラブ紹介

軽音楽部

私たち軽音楽部は、楽器初心者も経験者も含め気軽に楽しくバンド活動をしています！ギターやベース、ドラムに興味がある人はもちろん、楽器を触ったことがない人でも大歓迎です！バンド活動を通じて、他大学の軽音部とも交流があり、音楽の輪がどんどん広がるのも魅力のひとつです。新しい仲間と一緒に音楽を楽しみながら、大学生活をもっと充実させませんか？興味がある方は、ぜひお声がけください！軽音部一同、皆さんの入部をお待ちしております！



クッキングクラブ

こんにちは、クッキングクラブです。栄養学部2年生が3名、教育学部2年生が2名、看護学部2年生が1名の計6名で活動しています。大体1カ月に1回のペースで活動しています。活動内容は主にお菓子作りですが、希望があれば、ご飯作りにも挑戦しています。また、文化祭といったイベントにも積極的に参加して、いろいろなお菓子を作って提供しています。みんな仲が良く協力しあえるアットホームな部活動を心がけています。興味がある方はぜひ一度、クッキングクラブに来てみてください。お待ちしております！





令和6(2024)年度 学位授与式報告

3月14日(金)に、佐藤記念講堂において令和6(2024)年度学位授与式が執り行われました。始めに、生活科学部食物栄養学科74名、生活科学部児童教育学科52名、看護学部看護学科94名、計220名の卒業生を代表して各学科の総代が登場し、福嶋学長から学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」の授与が行われました。関係団体各賞・記念品の授与は右のとおりです。福嶋学長からの式辞、鳥崎理事長からの祝辞に続いて、門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を、教職員一同祈念いたしております。

学 科	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商議員賞	清家 理央 さん	石井 里歩 さん	村上 碧 さん
佐藤賞	山本 夕菜 さん	寺本 依央 さん	尾上 明日香 さん
関係団体各賞授与	吉富 真生 さん (全国栄養士養成施設協会)	紅 香奈子 さん (全国保育士養成協議会会長賞)	中村 綾乃 さん (日本私立看護系大学協会)
	住吉 知夏 さん (日本フードスペシャリスト協会)		布目 彩 さん (大阪府看護協会会長賞)
門出の誓い	上田 実祈 さん	石岡 璃子 さん	竹内 そら さん



令和7(2025)年度 入学式報告

令和7(2025)年度千里金蘭大学・大学院入学式が4月2日(水)に佐藤記念講堂で執り行われました。栄養学部栄養学科40名、教育学部教育学科32名、看護学部看護学科109名、計181名の学部生及び大学院看護学研究科6名の大学院生が希望を胸に学生生活の新たな第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、栄養学部栄養学科・向當小夜さん、教育学部教育学科・市谷明日香さん、看護学部看護学科・庄田莉乃さん、看護学研究科・満田昌代さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて福嶋学長からの式辞、大橋理事長からの祝辞があり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。当日は、あいにくの雨模様でしたが、キャンパスには雨雲を吹き飛ばすような新入生の晴れやかな笑顔があふれました。千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さん、ご家族の皆さま、おめでとうございます。



新任教員 紹介

栄養学部 栄養学科



小原 淳一 講師

- ①修士(文学)
- ②特別活動、シティズンシップ教育
- ③教育原論
- ④教育を通して人とかわるることや社会について一緒に考えましょう。



清家 理央 助手

- ①学士(栄養学)
- ③給食経営計画論実習
- ④私も皆さんと一緒に成長していきたいと思っています。よろしくお願いします!

教育学部 教育学科



肖 瑶 助教

- ①修士(教育学)
- ②教育方法学
- ③教育課程論
- ④皆さんとともに、教育学の魅力と奥深さを楽しく探究していきたいです!

看護学部 看護学科



服鳥 景子 准教授

- ①博士(哲学)
- ②地域高齢者の死生観
- ③地域・在宅看護援助論
- ④人の生死に携わる責任と強さを持った看護職者に育ってほしいです。



川端 京子 助教

- ①博士(看護学)
- ②看護教育、看護管理
- ③基礎看護技術演習
- ④演習や実習を通して、看護の世界を探求し、学生の皆さんと共に学び成長していきたいと思っています。



新宮 美穂 助教

- ①修士(保健学)
- ②基礎看護、臓器移植
- ③基礎看護学実習
- ④学生の皆さんと共に看護について学びを深めたいと思います。



芝池 咲弥佳 助手

- ①看護学士
- ②公衆衛生看護学
- ③公衆衛生看護学実習
- ④学生の皆さんと一緒に、看護や公衆衛生について学んでいきたいです!

- ① 学位
- ② 研究テーマ(専門分野)
- ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
- ④ 千里金蘭大学での抱負